

2021年6月期全塾協議会定例会議事録

2023年11月8日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2021年6月25日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2021年6月期全塾協議会定例会
場所	Webex(オンライン)
日時	2021年6月25日 18:31~21:38

出席者

	塾生代表	山田健太
上部団体	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長代理	中村惣一郎
	体育会本部 主幹	長谷川貴規
	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	吉田凌太
	全塾ゼミナール委員会 委員長	欠席
	芝学友会 会長	欠席
	芝学友会 会長代理	片岡奈緒
	福利厚生機関本部 代表代理	林田幸之助
	全塾協議会事務局 事務局長	岩館則明
	全塾協議会事務局より他9名	
以下議案提出者	文学部人間科学ゼミナール委員会 財務	中森遼太
	文学部社会学ゼミナール委員会 前委員長	菊池輝
	文学部社会学ゼミナール委員会 新委員長	布施一翔
	共済部 財務	中川和人
	芝学友会 財務	片岡奈緒
	卒業アルバム委員会 代表	青木満智子
	卒業アルバム委員会 財務局長	相良葉子
	矢上祭実行委員会 委員長	高瀬広晴
	矢上祭実行委員会 財務	相原茉依
	国際関係会 財務	清水菜央
	国際関係会より他3名	
	應援指導部 代表	中村剛太
	應援指導部 財務	坂本雄紀
	湘南自治会準備会 事務局定例会議長	松浦竹之介
	湘南自治会準備会 事務局広報局長	成田凜
	全塾協議会事務局 事務局長	岩館則明

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 岩館則明
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	議事部長 在原拓哉
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20210625-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20210625-02-JMK]	
i. 総務政策部報告	総務政策部長 清瀬竜世
ii. 財務部報告	財務部長 関田大輝
iii. 議事部報告	議事部長 在原拓哉
iv. 広報部報告	広報部長 堤悠真
v. 局長報告	事務局長 岩館則明
(3) 文学部人間科学ゼミナール委員会の交代報告 [20210625-03-BNZ]	文学部人間科学ゼミナール委員会 財務 中森遼太
(4) 商学部ゼミナール委員会の交代報告 [20210625-04-SGZ]	不在
(5) 文学部社会学ゼミナール委員会の交代報告 [20210625-05-KZZ]	文学部社会学ゼミナール委員会 委員長 布施一翔
(6) 共済部の活動申請に関する議案 [20210625-06-KSB]	共済部 財務 中川和人
(7) 芝学友会の独自財源特別支出承認申請 [20210531-07-SGK]	芝学友会 財務 片岡奈緒
(8) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請 [20210625-08-SAI]	卒業アルバム委員会 財務 相良葉子
(9) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20210625-09-YGM]	矢上祭実行委員会 財務 相原茉依
(10) 国際関係会の交付金特別支出承認申請 [20210625-10-IIR]	国際関係会 財務 清水奈央

項目	担当・議案提出者
(11) 国際関係会の独自財源特別支出承認申請 [20210625-11-IIR]	国際関係会 財務 清水奈央
(12) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20200625-12-OES]	應援指導部 会計 坂本雄紀
(13) 應援指導部による活動報告 [20210625-13-OES]	應援指導部 中村剛太
(14) 湘南自治会準備会による活動報告 [20210625-14-SJK]	湘南自治会準備会 事務局定例会議長 松浦竹之介
(15) 全塾協議会事務局による新規事業助成申請 [20210625-15-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明
(16) 全塾協議会事務局による今年度の監査及び交付金交付に関する 議案 [20200625-16-JMK]	全塾協議会事務局 財務部長 関田大輝
8. 連絡事項	議事部長 在原拓哉
9. 閉会宣言	事務局長 岩館則明

議決事項

議案識別子	提出者	議事名	可否
20210625-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20210625-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20210625-03-BNZ	文学部人間科学ゼミナール委員会	交代承認申請	採決なし
20210625-04-SGZ	商学部ゼミナール委員会	交代承認申請	取り下げ
20210625-05-BSZ	文学部社会科学ゼミナール委員会	交代承認申請	採決なし
20210625-06-KSB	共済部	活動申請に関する議案	可決
20210625-07-SGK	芝学友会	独自財源特別支出承認申請	可決
20210625-08-SAI	卒業アルバム委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20210625-09-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決(修正)
20210625-10-IIR	国際関係会	交付金特別支出承認申請	可決
20210625-11-IIR	国際関係会	独自財源特別支出承認申請	可決
20210625-12-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決(修正)
20210625-13-OES	應援指導部	活動報告	採決なし
20210625-14-SJK	湘南自治会準備会	活動報告	可決
20210625-15-JMK	全塾協議会事務局	新規事業助成申請	可決
20210625-16-JMK	全塾協議会事務局	今年度の監査及び交付金交付 に関する議案	可決

2023年11月8日議事録作成(役職役名ならびに条数は議会当時のものである。)

全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明 (署名)
全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 山田健太 (署名)
山田 健太

全塾協議会 議長 吉田凌太 (署名)
吉田 凌太

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 岩館則明が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部 在原拓哉による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 配布資料の確認

議事部 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 議事録作成報告

議事部 在原拓哉より、先月から完成した議事録はない旨、夏休みに集中的に進める予定である旨が報告された。2018、2019年のうち完成している議事録の最終確認については、前事務局長に依頼をしていると述べた。

6. 議長の指名

議事部 在原拓哉は、全塾協議会規約 第16条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、議長である芝学友会 横山さくらが遅刻出席になったため、全国慶應学生会連盟 吉田凌太を議長に指名した。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

湘南自治会準備会の選挙について、仕組みなどを協議した。塾長面談に関しては、事務局を通じて調整中であると報告があった。また、学祭の開催形態の早期公開を要請した。予算組みについても進行中であることを報告した。

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

優勝準備委員会に参加し、業務遂行中である。混声合唱団楽友会との面談を行い、緊急事態宣言かにおける活動許可について調査を行った。また、新入局員の仮配属を統括し、新たな入局希望者への個別説明会を実施した。医学部スチューデントアンバサダーと協力し、「新型コロナウイルスワクチン情報サイト」の制作・公開を行った。塾長面談の調整を行っている。

ii. 財務部報告

12月締め団体の決算書類の紙媒体、3月締め団体の決算書類の電子版及び紙媒体の回収を行っている。予算申請に関する案内を全団体に送付した。5月特別支出許可番号を発行した。監査及びリーダーズキャンプに向けた準備を行った。

iii. 議事部報告

名簿やメーリングリストを更新している。毎週木曜 19 時からの作業会で議事録作成を行っている。6月期全塾協議会定例会の日程調整、告知、式次第作成を実施した。また、メール対応や決議書の回収、性暴力に関する活動報告書の内容チェックを実施した。

iv. 広報部報告

WEB サイトの各種情報更新を行っている。全塾協議会のポスターを制作しており、現在最終調整中である。「新型コロナウイルスワクチン情報サイト」に関連する情報を、全塾協議会の Twitter など発信している。また、全塾協議会史編纂委員会に参加し、事務局の OB・OG と作業中である。広報部仮配属のメンバーにツール共有や業務説明を行った。

v. 事務局長報告

湘南自治会準備会から新規事業助成金の申請を行いたい旨の連絡を受け、面談を行い加盟規則に則って申請準備をした。本件に関する議案は本日扱っている。また、性暴力対策事業について、毎日新聞の取材を受けた。事務局人事を変更した。

(3) 文学部人間科学ゼミナール委員会の交代報告

文学部人間科学ゼミナール委員会よりこれまで議会へ報告してこなかった分の交代報告が上程され、新委員長に土屋珠理、新財務に松尾優里が就任した。

(4) 商学部ゼミナール委員会の交代報告

代表者不在につき、議案は取り下げられた。

(5) 文学部社会学ゼミナール委員会の交代報告

文学部社会学ゼミナール委員会より交代報告が上程され、新委員長に布施一翔、新財務に高沢理沙が就任した。

新委員長の布施より就任挨拶がなされた。

(6) 共済部の活動申請に関する議案

共済部 中川より活動休止中の期間に日吉キャンパスで必要な財務書類を受け取るために、一時的な活動許可申請の上程があった。

事務局長 岩館より具体的な期日を聞かれると、6月26日の15時から18時の間の5分程度であると中川より説明があった。また、塾生代表 山田より、電話代の支払書で、塾生会館閉鎖中に新たに発行された書類を回収する旨が述べられた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(7) 芝学友会の独自財源特別支出承認申請

芝学友会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、決算書類提出のための交通費 910円(御成門～日吉、日吉～北千住のそれぞれ片道分)である。

塾生代表 山田より行きの乗車駅と帰りの降車駅が異なっている理由が問われ、芝学友会より行きは芝共立キャンパスから日吉キャンパスに向かったのに対して、帰りは日吉キャンパスから自宅に向かったためであると説明があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(8) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、①交通費(卒業アルバム搬入交通費 3,244円(伊豆箱根鉄道株式会社の経路不明 560円、東日本旅客鉄道株式会社の田町～小田原往復分 1,342円)、早慶戦にかかる交通費 168円(東京地下鉄株式会社の経路不明))、②飲食費 921円(早慶戦にかかる昼食代)である。

塾生代表 山田より一部交通費の経路を記載していないことが指摘されたが、卒業アルバム委員会は経路について抜けていて確認できていないという返答があった。また、塾生代表 山田より往復代金かどうかと問われると、おそらく往復代金であるという返答があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(9) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、パンフレット作成のた

めの備品費(Adobe 株式会社のイラストレーター×10 個)261,360 円である。

塾生代表 山田より、金額が高いためどのプランをどのように買うのか質問があり、矢上祭実行委員会 財務 相原より、コンプリートプランをこれから購入すると回答があった。また、矢上祭実行委員会委員長 高瀬より、コンプリートプランは年間の一括払いで支払うものであるため、1 個あたり 26,136 円のを 10 個購入するためにこのような値段になるという説明が付け加えられた。塾生代表 山田より年間払いの理由を問われると、高瀬はパンフレット制作のためというものの広報局で様々な資料を作る際にも使用するため毎年このような形をとっていると回答があった。

事務局長 岩館よりコンプリートプランは全て入ったプランであり、単体のプランがあるにも関わらずコンプリートプランを選んだ理由は何かという質問があった。高瀬はフォトショップを使いたいからと返答した。続いて事務局長 岩館より、学割を使えば値段が変わらないと思うと発言があり、続いて購入物をコンプリートプランのサブスクリプションとするように指摘があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(10) 国際関係会の交付金特別支出承認申請

国際関係会より交付金特別支出承認申請が上程された。その内容は、夏の IW プログラムでお世話になる企業への贈答品費 2,000 円(菓子折り代)である。

国際関係会 財務 清水より例年の菓子折り代は独自財源から支出しているのに対して本年度は交付金から支出したい理由として、本年度は IW プログラムへの参加者数を絞ってしまっているため国際関係会 全体 に対しての利益にならないためであるからと説明があった。

塾生代表 山田より IW プログラムとはどのようなものかという質問があり、清水より国際関係会が主体となって実施している在日留学生との文化交流プログラムであり、こちらからも慶應の学生を世界に派遣できるものだという説明があった。

事務局財務部長 関田より、例年は独自財源として申請していたのに今年度は交付金で申請していたことから、これについて事前に団体に質問して返答をいただいたと補足があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(11) 国際関係会の独自財源特別支出承認申請

国際関係会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、KNOCK プログラムにおける通訳家への人件費(8月17日15時～18時)20,000 円である。

塾生代表 山田より3時間業務への対価として20,000 円を支出するのかと質問があり、国際関係会 井上より3時間業務の人件費として本来はもう少し高いものだったが、イベントの趣旨を共感していただき平日であったことも相まって交渉の末にこの金額となったと返答があった。塾生代表 山田より KNOCK プログラムについて質問があると、井上は国際関係会の中で韓国との交流をメインでやっており他大学の人や慶應義塾内の韓国人留学生も招き、日韓関係についてのセンシティブな議論を行う会であり、議論への支障がないように通訳を雇用していると返答があった。

全国慶應学生会連盟 吉田よりどのような形式で実施するのかという質問があり、井上より対面で実施するが、全員というわけではなく通訳もオンラインだと返答があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(12) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、パンクした器材車のタイヤの修理代 2,500 円である。

塾生代表 山田よりパンクした理由について質問があり、應援指導部 会計 坂部よりパンクした場所についてはわからないが大きな釘がタイヤに刺さっていたという説明があった。

事務局 財務部長 関田より支出日はいつなのかという質問があり、今月(6月)であると返答があった。全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(13) 應援指導部の活動報告

應援指導部より活動報告があった。應援指導部 中村より 6 月中は緊急事態宣言下であったため、大きな活動はできず、再建活動に関するミーティング、許可を得たうえでの「六旗の下に」の収録への参加(ただし本年度は無観客開催かつオンライン録画配信という形式になった)、オンライン練習、執行部会および定例会並びに役員会を実施したと報告があった。

塾生代表 山田より慶早戦を経て活動のしやすさはどのように変わったのか問われると、應援指導部 中村は突出して何かが変わったわけではないが、気持ちやモチベーションの面では昨年度と比較すれば良くなった上、応援のクオリティも上がった、呼んでいただけるだけでも幸せだと返答があった。塾生代表 山田よりコロナ禍の影響で慶早戦を感じられる機会が減っているので、より盛り上がるように取り組んでいただきたいとコメントがあった。また、應援指導部 中村より塾生代表 山田の Twitter における発信も助かったとコメントがあった。

(14) 湘南自治会準備会の活動報告

湘南自治会準備会より活動報告があった。湘南自治会準備会 松浦より先日の承認投票に関する臨時の議決への感謝が述べられた。平時の活動として定例会、新規事業として投票に関する準備や広報と団体総会及び七夕祭参加のための諸事業を実施していると報告があった。さらに現状の湘南自治会準備会は全塾協議会に仮加盟中の団体だが、これは昨年 8 月に議決されたもので 1 年間の期限となるので来月の定例会で本加盟の議決をとっていただきたいと説明があった。また、予算については承認投票の結果にかかってくるものであり、仮に認められた場合は自治会費の交付額を調整するためのリーダーズキャンプに参加したく、逆に認められなかった場合は結果によっては学生自治の必要性を啓発する団体である湘南自治会準備会として活動を継続すると述べた。

塾生代表 山田より自治会が見込んでいる予算の 100 万円程度の根拠については来月に具体的なものを示せるのかと質問があり、松浦より現在は構想段階のものについての予算であり、来月になればより現実化した予算を提示できると回答があった。

芝学友会 横山より自治会が所管する事業の内容について問われると、松浦はあくまで構想段階であり詰め切れていない部分も多いがオンラインデバイス関連や対面定例会出席のための交通費及び諸々の諸経費、並びに自治会になった後にできるトイレへの生理用品設置費などを想定していると回答があった。

事務局 財務部長 関田より団体として今後独自財源会計を作る予定があるのかについて問われ、松浦より検討はしており協賛などによる独自財源を持ちたいという思いはあるものの、具体的な構想は持っていないと回答があった。関田より協賛金に関わってくると独立性が損なわれかねないため、慎重に検討してほしい旨、事務的なことは事務局に相談してほしい旨、また予算書類と決算書類については来月ま

で準備してほしいという旨が伝えられた。

湘南自治会準備会 松浦より承認投票について意見をいただきたいと上程があった。現在湘南自治会設立の承認投票の準備を進めているが、競争性がなく最低投票要件も設けておらず、投票のシステム運営と開票のみを選挙管理委員会に依頼してそれ以外を準備会で実施していると背景の説明があった。投票そのものの告知と自治会設立のための広報の分別がなかなかできず、投票にあたって有権者が判断するのに必要な資料をサイトに投稿しているが、賛成を促す内容になってしまい、問い合わせも準備会が請け負うことになるため、場合によっては投票広報にあたってしまう可能性があり、これについての判断は利害関係者である湘南自治会準備会が判断して良いものではないため、選挙管理委員会に相談したところ、全塾協議会に共通合意を持ってもらう運びになったと説明があった。続けて、準備会の立場として告知と広報についての趣旨を作り、投票期間において「投票してください」は容認だが「賛成してください」は容認されず、特設サイトの掲載内容は投票期間中も継続掲載として載っていない内容は容認せず、有権者からの質問への対応も上記の条件を満たすのであれば必要と考えているが、これについての意見が欲しいと説明があった。

塾生代表 山田より選挙管理委員会 関田に対して何を根拠に判断するのか分からないために規約を共有するように要請があり、さらに山田より特設サイトの内容については有権者にとって必要な内容としているが、このサイトは準備会で編集可能であるため湘南自治会準備会からの裁量で今後改編されてしまっても議決をしても意味がないのではないかと質問があり、松浦より基本的には選挙期間前までしか編集せず万一エラーが見つかった際には選挙管理委員会に申し出た上で編集する方針であると回答があった。選挙管理委員会 関田より選挙規約が共有され、3分ほど議員が規約を読む時間が設けられた。

その間、塾生代表 山田より万一サイトの変更が必要な場合は選挙管理委員会で判断して良い問題なのかと質問があり、選挙管理委員会 関田は広報についてのことなので問題ないのではないかと回答があった。続けて塾生代表 山田より逐一全塾協議会で問う必要はないのかと質問があり、選挙管理委員会 関田より選挙管理委員会に一任する議決を本日とってもらえば問題ないと返答があった。さらに塾生代表 山田より投票が始まる7月3日の前日までは自由に編集できるので、極端なことを言えば7月2日の23時59分に湘南自治会準備会が大きくサイトを編集しても全塾協議会は止められないのではないかと質問があり、松浦より物理的には止められないが選挙管理委員会もサイトを見ているため著しく公平性を欠くことはできないと回答があった。山田より選挙管理委員会が毎度サイトをチェックしているのかと質問があったが、松浦より現状はURLを共有しているのみでチェックはされていないと返答があった。山田より現状のままだと今全塾協議会がサイトを見て判断することは難しく、サイトに書くものは湘南自治会準備会の管轄で善意悪意関係なく好き勝手に編集できてしまうのかということかと再度確認があり、松浦より事実であると返答があった。塾生代表 山田より今日決めないとまずいのかという質問があり、選挙管理委員会 関田より今日を逃してしまうと7月期定例会となるため厳しいという返答があり、同じく関田より団体としての広報活動と投票に関する広報活動が分割できないので、団体としての広報活動を7月3日以降もできてしまうのではないかとということを知りたいと認識していると発言があった。

議員が規約を読み終わったため、各議員に対して発言が求められた。全国慶應学生会連盟 吉田より山田塾生代表の言っていることは正しく、編集権限が全て湘南自治会準備会にあり、7月2日の直前に編集できてしまうことは懸念事項であると発言があり、一方で湘南自治会準備会が提案してくれた分別事項については問題ないという認識が示された。

体育会主幹 長谷川より何が容認されて何が容認されないかという部分は問題ないが、サイトの編集権限や期日についてはさらに話し合う必要があると発言があった。

福利厚生機関本部 林田より、サイトについてはよくわからないが現在出されている文書の容認の可否については問題ないだろうという認識が示され、さらに投票に関する広報が7月2日までなのはなぜなのかという質問があった。これに対して、湘南自治会準備会 松浦より賛成を促すことができってしまうため、選挙機関中の投票広報ができないという返答があった。続けて選挙管理委員会 関田より塾生代表選挙においては対面での選挙運動が選挙期間中できないがオンラインでは可能であったのに対して、今回の承認投票においては議決があったためにオンラインにおいても禁止になっていると説明があった。

文化団体連盟 中村よりサイトについてはどこかで線引きをするべきで内容を確認して許可を出すということを繰り返す以外にはないだろうという認識が示され、投票期間中の広報では団体広報と投票広報はやはり違うのでこの指針についての異論はないと発言があった。

芝学友会 横山より言葉の意味的な部分は問題ないが、サイトの内容に関しては7月2日の23時59分に編集ができてしまうという例も出たので、もう少し前に編集期限を定めても良いのではないかと発言があった。

塾生代表 山田よりサイト編集が現状では自由にできてしまうのはよろしくないが、それを踏まえてサイトの編集についてはどのくらいの頻度でどのくらいの内容を更新しているのかという質問があった。これに対して、湘南自治会準備会 松浦より週に2回程度で内容を大きく更新をしており、告示の日の内容を出し、その後に構想や意義を追加した他、英語版も作成したと返答があった。塾生代表 山田よりこれからの予定について質問があり、湘南自治会準備会 松浦より英語の表現の修正を行う必要があるがそれ以外に載せたいものは基本的に載せきったが、Q&Aは更新が必要であると返答があった。

塾生代表 山田より今回の議決は条件付きにならざるを得ないという認識が示され、今回は投票期間における広報について議決を取りたく、例えば7月1日までに編集を終わらせてもらって7月2日に議員が一通りサイトを見て問題がなければ可決とし、それ以降の更新については必ず選挙管理委員会に報告し、そこで所管しきれない分は議員や塾生代表に確認を取るという形にしたいと方針が示された。

塾生代表 山田より湘南自治会準備会はいつまでサイトを編集したいかと質問があり、湘南自治会準備会 松浦はQ&Aについては有権者からの質問に対して返答する関係でできるだけ長く編集したいが、それ以外は7月1日の23時59分までには終わるだろうと回答があった。山田より7月3日以降のQ&Aの編集は選挙管理委員会に任せ、それ以外の部分は7月2日に議員に確認をとりたいと発言があった。これに対して、選挙管理委員会 関田より選挙管理委員会のキャパシティを考えると1日や2日で確認できるという保証がないという発言があった。続けて関田より選挙管理委員会は委員全員の議決を取らなければならない、委員長や副委員長だけで判断するわけにはいかないと発言があった。山田より選挙管理委員会が塾生代表や議員に委託するのでは問題があるのかと質問があり、事務局長 岩館より選挙管理委員会への干渉となるため問題であるという認識が示された。さらに岩館より今回はそもそもサイトについて問題があり、サイトの中に準備会の理念が入っているためサイトに掲載されていることを個人が広報すること自体が問題になるので、サイト内には投票日程の告知と投票の促進くらいが掲載の限界になると考えられると発言があった。山田より特設サイトを3日の時点で縮小するべきかと質問があり、関田より資料でいうと広報活動の部分に当たるので問題なく、今問題にしているのは団体としての平時広報と投票広報の区別ができず、投票告知と投票への賛成広報も区別ができていないことで、実際にサイトにも投票を促す文言と賛成を促す文言の双方が入っていると返答があった。さらに岩館より投票期間

中に広報するのは禁止されており、サイトには広報に含まれる部分が入っているので投票期間中に新たにサイトに基づいて広報することはできない上にサイト自体はオンライン上に残ってしまうため、前日までは広報活動は問題ないが投票期間中については投票期日の案内と投票促進の発信のみにとどめられれば良いのではないかと発言があった。

塾生代表 山田よりこの選挙について有権者に対する情報源がサイトと Twitter しかないと言言があり、全国慶應学生会連盟 吉田より選挙自体の告知も大事だが投票の趣旨がわかるとこがないと投票の意味があまりないのではないかと発言があった。芝学友会 横山より投票は賛成と反対と白票の3種類かと質問があり、湘南自治会準備会 松浦より賛成と反対のみであると回答があった。続けて松浦より今回の命題は承認投票であり賛成か反対の二択となっており、投票の正当性ができるためには少しでも多くの人に投票の存在と判断材料を知ってもらう必要があるため、判断材料の広報をあえて差し止めるのはどうなのかと実務を担っているものとしての説明があった。

事務局長 岩館より投票することによるメリットを投票期間中に広報するのは問題なので、投票に関する事実に関しては投票期間中でも良いと思うと見解が述べられた。湘南自治会準備会 松浦より賛成のメリットについては判断材料になるので言う必要があると発言があると、岩館よりそれについては投票期間前に広報してほしいと返答があった。

塾生代表 山田より定義については全て選挙管理規約に準じており広報自体を是であるとは書いていないためこの議論について今は行わないと言言があり、続けて山田より事務局長 岩館に対してどの部分を選挙管理委員会の所管とすると考えているのかと質問があった。これに対して事務局長 岩館より投票についての事実と投票のメリットの主張の2つに分けて考える必要があると前置きがあった上で、投票期間中は投票事実のみの広報ならば問題なく、本当に選挙の告知だけであるかを選挙管理委員会で確認すれば良く、サイトについては更新さえしなければ削除しなくても良く、それに基づいて投票期間中に再度告知をしなければ問題ないだろうと返答があった。塾生代表 山田より選挙管理委員会は今出てきた業務を所管できるかと質問があり、選挙管理委員会 関田より大きな量が来なければ1日程度で対応できると返答があった。塾生代表 山田より全塾協議会からの大きな干渉は良くないので委員会で対応できるならそれで問題ないだろうと言言があり、続けて山田より有権者からの湘南自治会準備会の主張に関しての質問を投票期間中に広報することについては問題なのかという質問があった。それに対して岩館より電磁的な広報はいかなる媒体であっても問題であると回答があった。選挙管理委員会 関田より湘南自治会準備会の問い合わせ対応については選挙の事実に関する確認のみであると補足があった。

塾生代表 山田より特設サイトの内容について掲載は問題ないが追加発信は禁止で、有権者からの質問に答える場合は主張や意見を含まないような選挙に関する事実のみ回答可能とするということで問題ないかと発言があり、選挙管理委員会 関田より問題ないと返答があった。湘南自治会準備会 松浦より投票に関する詳細を伝える媒体としてサイトに誘導することは問題にあたるかと質問があり、山田より現状では問題であると返答があり、岩館より投票のページへの誘導なら問題ないと返答があった。松浦より投票サイトは選挙管理委員会が準備するということで問題ないかと質問があり、山田より湘南自治会準備会が編集できないサイトを用意してそこに誘導すると回答があった。さらに松浦より投票期間中に keio.jp のニュース欄に湘南自治会準備会のサイトに誘導するのは問題ないのかと質問があり、山田より詳細については後で選挙管理委員会と相談してほしいと返答があった。

湘南自治会準備会 松浦より平時の活動について投票期間中に七夕祭と E-FES への参加があり準備会の平時活動と投票の広報があり、準備会の趣旨を啓発することになるが大丈夫かと質問があった。それ

に対して事務局長 岩館より七夕祭における具体的な発表内容について質問があり、松浦より湘南自治会準備会の団体についてと活動内容や承認投票について発表した 15 分ほどの動画を配信する予定であると返答があった。山田より公開は 7 月 3 日になるが提出は投票期間前になるのでなんとか問題ないのではないかと発言があり、それに対して岩館より第三者の自由意志で引用してそのまま流すのであれば選挙運動に値しないという条項はあったが放送は七夕祭実行委員会の自由意思ではないため例外規定を作って議決をとるのが良いかもしれないと発言があった。山田よりこのイベントによって何かが動くわけでもなければ塾生に不利益を被らせるわけでもないので、E-FES と七夕祭のみ例外規定を作るのは可能だろうと発言があり、さらに山田より湘南自治会準備会に対して E-FES と七夕祭以外に問題になりかねない活動はないかと確認があった。それに対して松浦より 7 月 3 日の七夕祭、7 月 4 日の E-FES、7 月 5 日～7 月 9 日の深夜の準備会ラジオ、さらに研究会網羅プロジェクトがあり、その中でラジオでは投票の事実のみを伝えており、研究会網羅プロジェクトについては自治会設立と全く異なる文脈であるため問題ないと考えていると返答があり、さらに Twitter を使って重要なお知らせの配信時に keio.jp の誘導をすることもあったと補足があった。山田より E-FES と七夕祭は例外規定で良く、ラジオについては投票事実に関する広報のみと約束できるのであれば問題ないが、研究会網羅プロジェクトについてはどういふものかと質問があり、松浦より研究会の人にインタビューなどをするもので選挙とは関係なく自治会としての先行した活動にあたるものであり Twitter などを使って伝えると返答があった。さらに山田より研究会網羅プロジェクトをなぜこの時期に行うのかと質問があり、松浦より新年度に間に合わせるためであり差し止めることも不可能ではないが人員が限られているからなるべく実施したいと返答があった。松浦より続けて研究会の要請によって研究会聴講を行う可能性があり、その際には Webs サイトと Twitter を使うと説明があった。山田より Web サイトの更新は難しいので Twitter だけに絞れないかと質問があり、それに対して松浦より内部情報もあるので keio.jp 認証をかける必要があることから難しいと返答があった。山田より E-FES と七夕祭と研究会網羅プロジェクトを例外規定としたいと発言があったが、岩館より例外規定をあまり多く設けたくないという発言があり、松浦より研究会網羅プロジェクトは投票期間の 1 週間差し止めるという話があった。山田より E-FES の内容について質問があり、松浦より話題については湘南自治会準備会で設けないが団体についてと承認投票の趣旨は言わざるを得ないがそれ以外は団体広報に当たらないように調整ができると回答があった。

選挙管理委員会 関田より議決文を作成した上で共有され、これについて議員に意見が求められ、各議員より問題ないという認識が示された。湘南自治会準備会 松浦より「有権者への質問に回答する」という文言に関して有権者からの質問は先ほど決めた通りで問題ないが研究会や E-FES においての先生からの質問に対してはどうすべきかという質問があり、塾生代表 山田より E-FES は例外規定を設けるので問題ないが投票期間内の授業中については事実のみの回答になると返答があり、規定の中から「有権者」の文言が外された。さらに事務局長 岩館より例外規定の文面案が共有され、先に出ていた文面と合算された。関田より例外規定によって七夕祭と E-FES では賛成を促す発信ができてしまうが問題ないかと質問があり、山田よりこれについてはあまり大きく賛成を促す広報をされては困るが、ある程度は容認する方針が良いのではないかと返答があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(15) 事務局の新規事業助成申請

全塾協議会事務局より新規事業助成申請が上程された。事務局長 岩館より新規事業助成申請について説明があったうえで湘南自治会準備会より助成金の申請があったために事務局の事業として申請したと説明があった。湘南自治会準備会 松浦より七夕祭のオンラインステージ企画で準備会の広報と投票の告知のための費用として6,220円の申請をしたいと説明があった。塾生代表 山田より七夕祭のオンラインステージへの参加についての議論は終わったため予算を出すかどうかについて話したいと説明があった。

事務局長 岩館より参加費6,000円と手数料220円を助成金として支出したいと説明があり、この支出について新規事業助成金についてはこれまでは慶早戦の広報ポスターなど直接塾生に還元できる事業で利用していたのに対して、これについては直接塾生に還元できるものではないので事務局内では議論があったが、ここで湘南自治会準備会が投票率の向上に寄与させることができれば後々にSFC生に対して福利厚生ができるのではないかとということで申請したと説明があった。

塾生代表 山田より湘南自治会準備会は七夕祭でもう1企画を出すと言っていたがその企画について教えてほしいと質問があり、湘南自治会準備会 松浦より今回申請するのはオンラインステージだがそれ以外に参加費無料のArt Fightと当日参加者が参加費を負担する屋外企画にも参加すると回答があった。

事務局 財務部長 関田より独自財源会計については決算で重要になってくるのでその管理をしっかりとお願いしたいと発言があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(16) 事務局の今年度の監査及び交付金交付に関する議案

事務局 財務部長 関田より本年度の監査及び交付金交付に関して議案が上程された。その内容としては、①一次監査は電子媒体で実施すること、②二次監査は対面で実施すること、③リーダーズキャンプについては全団体参加で通常通り行うがオンライン・オフライン・ハイブリッドのすべてを並行して検討していること、④昨年度緊急交付を行った4団体を除いて、昨年度申請された予算は一律で却下として今年度の使用額と翌年度の使用額の2年分の予算申請を認める方針であることである。昨年度提出予算書類も修正してもらった上で来年度予算は通常通り作ってもらい、本年度は塾生代表・団体・事務局が参加する形で予算折衝(団体発議と塾生代表発議の2種類が存在)を行ってリーダーズキャンプを迎える予定であると説明があった。

塾生代表 山田よりリーダーズキャンプについては様々な形態があり、紙媒体で確認しなければならない人が対面とし電子媒体で対応できる方はオンラインというような形がハイブリッドの趣旨であると補足があった。

芝学友会 横山より交付金の予算案についてはこれまで曖昧なものだったのを明確化するという認識が良いかと質問があり、関田より明確化するのに加えて単に例年の2年分ということではなく実態に応じて交付をするという目的があると説明があった。塾生代表 山田より今年度の申請が例年の2年分でも実態に合っていれば認めないわけではないという補足もあった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

8. 連絡事項

事務局 議事部長 在原より次回全塾協議会について日程調査を行ったのちに改めてホームページとメ

ーリングリストで報告するとの連絡があった。

事務局 財務部長 関田より緊急決議への協力に感謝し今日決まった運営方針に基づいて今後も活動していくという発言があった。

9. 閉会宣言

事務局長 岩館則明が閉会を宣言し、21:38 に閉会した。